

東北支社 入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	令和7年2月19日（水） 東北支社11階 会議室	
委 員	運上 茂樹 （東北大学大学院教授） 笹村 恵司 （弁護士） 辻田 芳幸 （東北学院大学教授） 河野 達仁 （東北大学大学院教授） 只森 健一 （公認会計士・税理士） 小笠原 孝史（東北経済連合会 専務理事）	
審議対象期間	令和6年4月1日～令和6年9月30日	
抽出案件	総件数【6件】	備 考
○工事	【4件】	
・一般競争	1件	東北自動車道 和賀川橋床版取替工事
・条件付一般競争	1件	東北自動車道 直流電源設備更新工事
・条件付一般競争 （指名併用型）	1件	磐越自動車道 西会津地区附帯工工事
・随意契約	1件	東北自動車道 苗代沢橋耐震補強工事
○調査等	【1件】	八戸自動車道 滝野橋床版更新工事発注用図面作成
○物品等	【1件】	福島管理事務所管内 低濃度PCB廃棄物運搬処分業務
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回 答
<p><u>【入札監視統一事務局における工事審査実施状況報告】</u></p> <p>・意見等なし</p> <p><u>【入札契約状況報告】</u></p> <p>・調査等の案件のうち、落札率が20%台と低い案件が散見されますが、どのように捉えているのでしょうか。</p> <p><u>【競争参加資格停止等運用状況一覧表報告】</u></p> <p>・資格停止の期間にばらつきがあるが、どのような基準で停止期間を定めているのでしょうか？</p> <p><u>【資格取消等状況一覧表報告】</u></p> <p>・該当なし</p> <p><u>【一次苦情及び一次説明処理状況表報告】</u></p> <p>・該当なし</p> <p><u>【談合情報について】</u></p> <p>・社内の関係者を対象に実施したヒアリングについて、ヒアリングの対象者数を教えてください。また、ヒアリングの実施により工事工程に支障は生じなかったのでしょうか。</p> <p><u>【抽出事案の審議】</u></p> <p><u>「東北自動車道 和賀川橋床版取替工事」</u></p> <p>・落札者を決定する際の方式として採用した除算方式について、各参加申請者の調査基準価格はどうように算定したのでしょうか。</p>	<p>・調査等の場合、失格基準を設定していないため、低入札価格調査の結果、適正に業務が履行されると判断した場合は、落札率の高低によらず当該金額で契約を締結します。なお、落札率が低かった案件で、業務成果の品質が劣っていた事象は確認されておりません。</p> <p>・事案が与える社会的な影響度合いなどを鑑み、事案ごとに措置期間を定めています。</p> <p>・対象者数は24名です。また、ヒアリングの実施による工事工程への支障はありませんでした。</p> <p>・各参加申請者が提出した参考見積書を基に各参加申請者の契約制限価格に相当する額を算出し、当該額を基に各参加申請者の調査基準価格を算定しています。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・技術評価項目のうち工期短縮に係る提案について、現実性の評価とはどのようなものでしょうか。短縮日数が多いほど技術評価点が高いという考えではないのでしょうか。 ・工期短縮に係る提案の技術評価点は 30 点としていますが、各評価項目の配点はどのように設定しているのでしょうか。 ・悪天候などで工事進捗に遅れが生じる場合、受注者が工期短縮に係る提案を遵守しようとするあまり、無理な工程による作業を強いられるようなことはないのでしょうか。 ・技術評価の手法として、提案技術の導入でもたらされる便益と費用の相関を用いて評価する方法もあると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現実性は、提案内容の履行により日数短縮にどれ程の効果が期待できるかを評価するものです。また、短縮日数については、日数に応じ段階的な評価をするため、短縮日数が一定以上の場合、一律に最高評価点を付与することとなります。 ・技術と価格のバランスを考慮のうえ、一定の競争原理が成り立つよう、方式ごとに技術評価点の配点を定めています。評価項目や配点については、過去実績の検証結果や社会情勢等を踏まえ、適宜改定しています。 ・天候不良など受注者の責めに帰することができない事由により提案内容を履行できない場合においては、受注者に責を問うことはありません。 ・今後の検討の参考にします。
<p>「東北自動車道 直流電源設備更新工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低入札の場合、どのように工事の品質を確認しているのでしょうか。また、低入札となった要因として、貴社が設定した契約制限価格が高すぎたということはないのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入札後の低入札価格調査において、入札額の内訳のうち、当社積算額と乖離がある項目については落札予定者へのヒアリングで金額の妥当性を確認するなど、当該入札額で適正に履行されることを確認しています。また、契約制限価格については、国土交通省が定める単価や刊行物、市場価格調査等の結果等を基に適正な金額を算出しています。
<p>「磐越自動車道 西会津地区附帯工工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質確保のため、競争参加要件に地域の要件を設定していますが、地元企業の育成という観点も考慮しているのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元における社会資本を支える企業の確保にも資するものと考えています。
<p>「東北自動車道 苗代沢橋耐震補強工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本工事は工事 3 件の継続契約のうち 2 件目の工事とありますが、契約金額は、受注者が提示した参考見積額をそのまま採用しているのでしょうか。 ・当初契約時に 3 件の工事をまとめて発注しないこととした理由を教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受注者から参考見積を徴取した後、妥当性を確認し、契約制限価格の設定、受注者との見積合わせを経て契約金額を決定しています。 ・継続契約方式では、1 件目の工事を施工している間に 2 件目の設計を実施するなど、一度の調達手続きで複数の設計と工事を並行して実施できる利点があります。また、3 件の工事を一まとめにして発注する場合、工期が長期間となり、様々なリスクを抱える点も考慮しています。

<p>「八戸自動車道 滝野橋床版更新工事発注用図面作成」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約制限価格に対する調査基準価格の割合が案件によって異なりますが、割合にばらつきがある理由を教えてください。 <p>「福島管理事務所管内 低濃度P C B廃棄物運搬処分業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競争参加者が1 者のみであったことについて、どのように捉えているのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査基準価格は工事と調査等で算定方法が異なる他、調査等のうち設計や測量・試験など業種区分により算定方法が異なるため、案件ごとにばらつきが生じます。 <ul style="list-style-type: none"> ・有害物質であるP C Bを含有する廃棄物の適正な処分のため、廃棄物の処分及び運搬に係る法令上の許可が必須であり競争参加要件として設定しましたが、当該地域に要件を満たす者が少数であったものと捉えています。
<p>審議結果の報告</p>	<p>個別の審議案件について、入札の事務手続きについて特段の疑義はないものと認められます。</p> <p>一方で、技術評価における新たな指標の導入や、評価方法の分かりやすさ向上など、より良い方法を引き続き検討してください。</p> <p>また、調査等で低落札率となる事案については、業務成果の品質確保の観点から、引き続き注視してください。</p>